

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻中心とした土地利用型農業が主体の平地農業地域
- 高齢化等による労働力の減少に伴う遊休農地の発生が懸念されるため、農地の集積が必要。

【支援内容・背景】

- 担い手への農地の利用集積を円滑に進めるため、経営農地を面的に集積し、農作業の効率化を図るための支援が必要。
- 助成対象者は地区内で有機栽培の水稻と大豆を主体とした経営を営んでおり、地域の離農者の農地引受や作業受託、研修生の受入などに積極的に取り組んでいる。また、有機大豆や有機米を使った味噌、切り餅などの加工品も販売するなど経営においても地域の先進的な取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「(有)瑞宝」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 昭和37年 水稻農家の後継者として就農、水稻の自然農法栽培開始
- 平成10年 大豆の自然農法栽培開始、加工品の販売開始
- 平成13年 農産物の有機JAS認証(水稻)取得
- 平成16年 法人化(有限会社)
- 平成17年 経営改善計画の認定
- 平成21年 加工食品の有機JAS認証(有機米みそ)取得、第48回農林水産祭(農産部門)天皇杯受賞

《事業活用の背景》

○ 作付面積の拡大及び高付加価値である有機農産物の販売を通して売上の拡大を図るために、作業効率の向上や排水対策等に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

○作付面積	99ha
(有機栽培)	
水稻	31ha
大豆	68ha
○出荷数量	
有機JAS大豆	70.9t

《事業による整備内容》

- トラクター135ps 1台
- トラクター 60ps 2台
- レーザーレベラー 1台
- GPSセット 1セット
- リバーシブルプラウ 1台
- 田植機 8条植 1台
- 大豆播種機 1台

総事業費 52,160千円
(国費 23,706千円)

【現在の経営状況】
〈R6年度〉

○作付面積	116.5ha (118%)
(有機栽培)	
水稻	42.2ha (136%)
大豆	74.3ha (109%)
○出荷数量	
有機JAS大豆	94.1t (133%)



事業の
効果

《対象者》 有機栽培面積の拡大、高品質な水稻・大豆の栽培が確立。

《地区》 有機栽培技術の確立及び農地集積が図られたことによる地域の先進的な大規模モデルが確立。